

50. 共に汗して、農業の楽しみを体験しよう

グループ名 はすだっ子農業体験隊

代表者 槇野博巳

① 活動の目的

- ・ 平田小学校の近くにある耕作放棄地を利用して、小学生が農作物を栽培することで、手入れされた農地を、子ども達自身が大人と一緒に学校の周辺に作る。
- ・ 地域の大人（農家や小学生の家族も含む）が農作業の指導を行うことで、小学生は農業の苦労や収穫の喜びを大人や友だちとともに体験する。

② 活動概要

- （１）春野菜の準備をしよう（４月）：管理機による耕作、ジャガイモ植え、昔ながらの手植えによる田植えをする。
- （２）自分達で作った野菜を入れて「おいしいカレーパーティー」をしよう（５月）：調理と会食をする。
- （３）サツマイモを植えよう（５月上旬）：大人も子どもも一緒に農作業をする。
- （４）夏野菜を作ろう（５月～）：ミニトマト、スイカ、味ウリ、黒豆の栽培
- （５）秋の稲刈りや野菜を作ろう（９月初・中旬～）：管理機による耕作、大根、人参、白菜、玉ねぎ、えんどう豆などの栽培
- （６）なべ汁やおにぎりでパーティーをしよう（１１月下旬）：できた野菜を収穫し、「収穫祭」おむすびを作る。
- （７）春野菜の準備をする。（３月）

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出		
	○苗代（野菜種子 6,875 円、玉ねぎ苗 5,292 円、ミニトマト苗 6,806 円、サツマイモ苗 6,480 円）	25,453円
	○農業資材（黒マルチ 2,492 円、草刈り用カッター11,742 円、混合ガソリン 1,760 円、あぜ板 7,480 円、収穫かご 919 円、草刈り鎌 3,760 円、レーキ 1,131 円、鍬 25,000 円、農具シート 1,000 円、簡易物置 19,800 円	75,024円
	合 計	100,477円

④ まとめ

＊ 大同生命事業団より活動が認められました

(はすだっ子子ども教室だよりのブログにて発信)

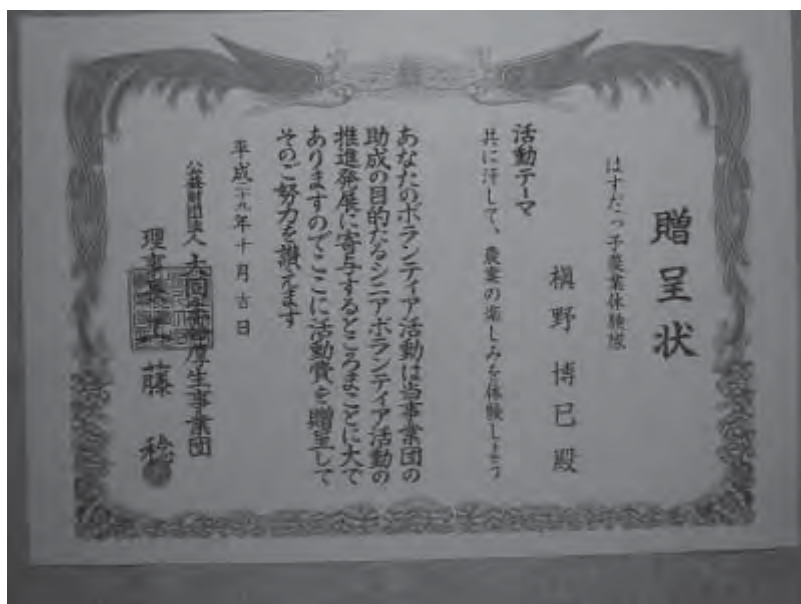
10月17日に松江の大同生命ビルにおいて大同生命厚生事業団より助成金の贈呈式があり代表で参加しました。内容は、はすだっ子子ども教室が、田植えや稲刈り、野菜作りをしながら、子ども達と共に汗を流し、農業の楽しさを伝える活動が認められ、今後の農業体験活動に農機具等の購入に役立てるようにと助成金をいただきました。

シニアのスタッフの皆さんが、退職後の生きがいとして、子ども達の笑顔や元気をもらいながら、「老骨に鞭打って」行っているボランティア活動が認められたものと思っています。

下記に、10月18日の山陰中央新報の記事と、いただいた贈呈状を載せています。

「はすだっ子子ども教室」のみんながいただいたものですので、今後の活動の励みにしていきたいと思います。

今後は、サツマイモの焼き芋大会やサツマイモをいっぱい入れた豚汁なども食べながら、働く喜びや、収穫の喜びを味わってほしいと思っています。



いただいた補助金は、鎌や鍬、簡易倉庫など主に農業資材として使わせていただきました。

平成 29・30 年度の活動記録（ブログにて更新中） はすだっ子農業体験隊

<http://hasudakko.jugem.jp/>

（1） 稲作体験の様子です。



ブログでは、平成 29 年 10 月 18 日授賞式を、平成 29 年 9 月 9 日、30 日、10 月 4 日、11 月 4 日、25 日、

平成 30 年 3 月 10 日、5 月 12 日、18 日、26 日、6 月 9 日、16 日、22 日にそれぞれ農業体験活動の様子を発信しています。

ぜひご覧ください。



(2) 野菜作りに挑戦

